

膿瘍形成性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、第39回日本内視鏡外科学会総会/第22回世界内視鏡外科学会にて医学研究として発表いたします。対象となる患者さんでご自身の診療情報の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。また、拒否を申し出たとしても、診療上で不利益を受けることはありません。

研究期間： 2015年4月～倫理委員会承認日～2027年3月31日

【研究の目的・意義】

膿瘍形成性虫垂炎に対して緊急で虫垂切除術を施行する際に、重大な合併症が発生する可能性は未だ少なくありません。合併症を予防するために、保存的加療後に、膿瘍の消失を確認後、待機的に虫垂切除術をうけることが行われるようになりました。膿瘍形成性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術の有用性を明らかにすることを目的に、当院で2015年4月から2025年8月までに膿瘍形成性虫垂炎に対して施行した手術成績について比較検討致します。膿瘍形成性虫垂炎に対して手術を行った患者様の手術成績について、すでに確認された情報を用いて検討したいと考えています。追加での採血や画像検査等はありません。

【対象となる方】

2015年4月から2025年8月までに膿瘍形成性虫垂炎に対して手術を施行した患者様を対象とします。

【研究機関名及び研究責任者（情報の管理について責任を有する者）】

りんくう総合医療センター 消化器外科 小川 久貴

【調査項目】

患者背景, 手術成績

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

りんくう総合医療センター消化器外科 小川 久貴
泉佐野市りんくう往来北2-23 電話：072-469-3111 FAX：072-469-7929

(2026年1月29日)